

お知らせ

INFORMATION

No.2019-21
2019年9月
病体生理研究所

新規受託開始および受託中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。併せて旧検査コードにつきましては受付中止とさせていただきます。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆**膾グルカゴン (IRG) [16818]** …検査実施施設 (M)

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2019年10月1日（火）受付分より

【検査受付中止について】

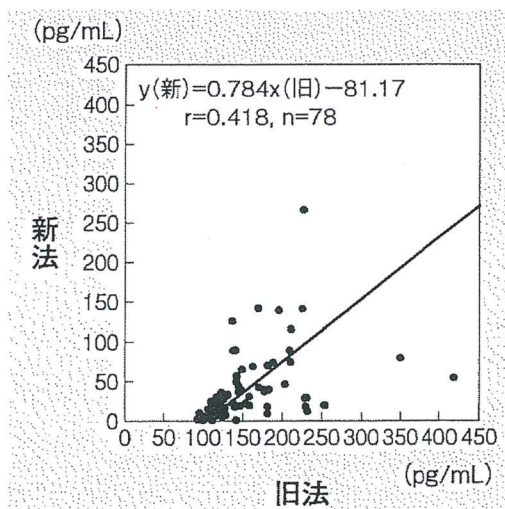
◆**グルカゴン [17454]** …検査案内P46 検査実施施設 (M)

《最終受付可能日》2019年9月30日（月）受付分まで

【新規項目情報】

項目名称	膵グルカゴン(IRG)
コード	16818
検体材料	EDTA-アプロチニン血漿 0.4mL
保 存	絶凍
検査方法	EIA 法
基準値 (単位)	5.4~55.0 pg/mL (空腹時)
所要日数	4~11 日
実施料 (区分)	150 点 (D008 21) ※内分泌学的検査包括項目
判断料	生化学検査Ⅱ 144 点
備 考	溶血の影響により測定値が低値となる可能性があります。 基準値は測定試薬の添付文書記載値です。

【新法と旧法の相関】



(LSI メディエンス社内検討データ)

グルカゴンの検査方法をRIA法からEIA法に変更致します。従来のRIA法はグルカゴン分子のC末端側を認識するモノクローナル抗体を用いており、相同的なアミノ酸配列を有するグリセンチン(1-61)やミニグルカゴンなどの類縁ペプチドにも反応し、その測定値は実質的にこれらペプチド群の総量を反映していました。一方、EIA法ではグルカゴン分子のC末端およびN末端をそれぞれ認識する2つの抗体によるサンドイッチ法に基づくことから、より特異的にグルカゴンを検出することが可能です。

本EIA法はグルカゴン測定における現時点の標準法たるLC-MS/MSとの相関も良好です。

なお、EIA法採用に伴い、基準値を当該検査試薬の添付文書記載値に変更致します。

参考文献：菊池唯史，他：臨床検査 61 (7) : 878-883, 2017.

菊池唯史，他：医学と薬学 75 (4) : 417-424, 2018.

以上